

2019年度

慶應義塾大学入学試験問題

経済学部

地理歴史（世界史）

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いたり、裏返したりしてはいけません。
2. 地理歴史（世界史）の問題冊子は全部で12ページ（問題は2ページから11ページまで）です。試験開始の合図とともに全てのページが揃っているか確認してください。ページが抜けていたり重複するページがあったら、ただちに監督者に申し出てください。
3. あなたが出願時に選択した地理歴史の科目は世界史です。出願時に選択した科目を変更することはできません。
4. 解答用紙は1枚で、解答を記入する欄は〔解答欄A〕と〔解答欄B〕に分かれています。解答は、問題の指示にしたがってそれぞれの解答欄に記入してください。また、解答用紙に記載された注意事項も必ず読んでください。
5. 解答用紙には、氏名を記入する欄が1カ所、受験番号を記入する欄が3カ所あります。
6. 問題冊子の余白は下書きに用いてもかまいません。ただし、1ページ目と12ページ目には何も書いてはいけません。
7. 解答用紙の余白、採点欄および裏面には何も書いてはいけません。
8. 試験終了後、問題冊子は必ず持ち帰ってください。

I 1848年革命に関する次の文章を読んで、問1～問7に答えなさい。解答は、設問で指定された場合を除いて、すべて番号で解答用紙の〔解答欄A〕の所定の欄に記入しなさい。

A 1848年、革命はヨーロッパ全土に波及していった。「諸国民（民族）の春」と形容されるように、全体として、B ウィーン体制を打破する「国民（民族）」の自立がこの一連の革命の重要な要素であったことは間違いなが、C その地域毎に固有の課題があり、目指す方向は必ずしも同じではなかった。

革命の導火線となったのは、D イタリアだった。E フランスでは、パリで二月革命が勃発し、( a )は( A )に亡命した。ドイツでも、ベルリンで三月革命が起こり、5月にはフランクフルト国民議会が開かれることになった。オーストリアでは、ウィーンで三月革命が起こり、( b )は( A )に亡命した。

この影響を受けてヨーロッパ各地で諸民族が自由と自立を求めて次々に立ち上がり、ハンガリーでは( あ )人が( c )の指導で独立政府を樹立し、ベーメンでは( い )人の自治が認められた。F ポーランドの民族運動も高揚した。

問1 上の文中の(a)～(c)に入る人名を、〔語群1〕から、(A)に入る国名を、〔語群2〕から、(あ)、(い)に入る適切な語を〔語群3〕から、それぞれ選びなさい。

〔語群1〕

- |             |             |           |             |
|-------------|-------------|-----------|-------------|
| 1. ヴィルヘルム1世 | 2. ヴィルヘルム2世 | 3. コシューシコ | 4. コシュート    |
| 5. シャルル10世  | 6. マッツイーニ   | 7. メッテルニヒ | 8. ルイ＝フィリップ |

〔語群2〕

- |            |          |         |           |
|------------|----------|---------|-----------|
| 1. アメリカ合衆国 | 2. イギリス  | 3. オランダ | 4. スウェーデン |
| 5. スペイン    | 6. デンマーク | 7. ベルギー |           |

〔語群3〕

- |          |          |           |         |
|----------|----------|-----------|---------|
| 1. アルバニア | 2. クロアチア | 3. スロヴェニア | 4. セルビア |
| 5. チェック  | 6. マジャール |           |         |

問2 下線部Aに関連して、1848年より後の出来事を、次の1～6から2つ選びなさい。(ただし、順序は問わない)

1. アメリカでは、ジャクソン大統領がジャクソニアン＝デモクラシーと呼ばれる民主政治を展開した。
2. イギリスでは、チャーティスト運動が始まり、議会に対して第1回の請願が行われた。
3. 各国の社会主義者がロンドンに結集し、第1インターナショナルが結成された。
4. 清が、アメリカとの間に望厦条約を、フランスとの間に黄埔条約を結んだ。
5. メキシコでは、ディアスが大統領の地位につき、独裁政治を行なった。
6. ロンドン会議で、ムハンマド＝アリーがエジプト総督位の世襲を認められた。

問3 下線部Bに関連して、次の文章は、ウィーン会議開催中に書かれた論考からの抜粋である（ただし、一部を適宜改めた）。これを読んで、以下の（1）～（4）に答えなさい。

（ a ）は、諸勢力の均衡と呼ばれる政治的方策によって新しい秩序を樹立した。α ヨーロッパは二つの連合体に分割され、この二つを同等の強さに保つ努力がなされた。しかしこれは戦争を生み出し合法的に永続させるものであった。……けだし、（ a ）以来、β 戦争がヨーロッパの常態だったからである。……

現在、ウィーンで会議がおこなわれている。この会議は何をするのであろうか。……ヨーロッパ各国の野望を抑え、全体の利害を調整することによってヨーロッパ列国間に平和を樹立すること、これがこの会議の目的である。

〔資料出所〕 森博編訳『サン＝シモン著作集』

（1） 上の文中の（a）に入る適切な語を次の1～6から選びなさい。

1. アウクスブルクの和議
2. アミアンの和約
3. ウィーン議定書
4. ウェストファリア条約
5. ピレネー条約
6. ユトレヒト条約

（2） 上の文中の波線部αに関連して、（a）が終結させた戦争における二つの対立軸を、〔解答欄B〕の所定の欄に記述しなさい。

（3） 上の文中の波線部βに関連して、次の1～6の中から、（a）からウィーン会議の間に起こった出来事を4つ選び、年代の古い順に並び替えて左から記入しなさい。

1. 第1次イギリス＝オランダ戦争の開始
2. オーストリア継承戦争の開始
3. ギリシア独立戦争の開始
4. 七年戦争の開始
5. スペイン継承戦争の開始
6. ユグノー戦争の開始

(4) ウィーン会議およびウィーン体制に関する次の文章の中から、誤りを含む文章を1つ選びなさい。

1. ウィーン会議で、オーストリア領ネーデルラントはオランダ領となったが、フランスの七月革命後に独立し、立憲王国となった。
2. ウィーン会議後も、ドイツのブルシェンシャフトによる改革要求、イタリアの秘密結社カルボナリの蜂起など、自由主義的な改革を求める動きがつついた。
3. ウィーン会議後にラテンアメリカでは独立運動が相次ぎ、その結果、ハイチ共和国、ボリビア共和国、ペルー共和国などが誕生した。
4. ウィーン会議の採用した正統主義によりフランスではブルボン家による王政が復活し、ルイ18世を継いだシャルル10世は、オスマン帝国下のアルジェリアに出兵した。

問4 下線部Cに関連して、フランスの1848年革命とドイツの1848年革命の相違について、〔解答欄B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい。ただし、次の2つの語を必ず使用すること。

共和政      統一国家

問5 下線部Dに関連して、以下の(1)、(2)に答えなさい。

(1) 1848年革命後、1861年にイタリア王国が成立するまでの経緯に関する次の文章の中から、誤りを含む文章を1つ選びなさい。

1. ローマ共和国は、民族統一と共和政を目指す「青年イタリア」を指導してきたマッツィーニらが参加して建設されたが、フランス軍に倒された。
2. サルデーニャ王国では、1848年革命勃発後に議会が開かれ、カヴール首相が鉄道建設など、近代的社会基盤の整備を行なった。
3. サルデーニャ王国は、ナポレオン3世とプロンビエール密約をむすんだうえでオーストリアとの戦争に勝利し、ロンバルディアを得た。
4. 両シチリア王国は、ガリバルディによって統治されていたが、侵攻してきたサルデーニャ王国軍との戦闘に敗れて、吸収合併された。

(2) 次の(a)、(b)の条件にあてはまる地名を下の1～6から選びなさい。

(a) 1861年のイタリア王国の成立の後、1870年の国家統一までの間に併合された。

(b) 1870年の国家統一の際に併合されずに第一次世界大戦後に併合された。

- |           |          |          |
|-----------|----------|----------|
| 1. ヴェネツィア | 2. サヴォイア | 3. トスカナ  |
| 4. トリエステ  | 5. ナポリ   | 6. ピエモンテ |

問6 下線部 E に関連して、次の資料は、トクヴィル『回想録』からの抜粋であり、フランスにおける1848年革命が対象になっている（ただし、一部を適宜改めた）。これを参考にして、1848年2月に樹立された第二共和政がどのように終焉したか、〔解答欄 B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい。

人民が大統領を選出することが好ましいと言いきれるものではなかったこと、そうした直接選挙を志向する傾向は新しいものであると同時に危険なものであったということを、率直に認めておかねばならない。……われわれは王政から脱したばかりであり、共和主義者自体も、その態度・習慣には王政的なところはまだあるのだ。……こうした状況のもとで、人民の選ぶ大統領とは、王位をねらうものでないとするなら、一体どのようなものなのか。大統領の制度は大統領権力を王権に変形させるのを助けるために、それを利用しようと欲する人びとにのみ適したもののなのだ。

〔資料出所〕 喜安朗訳『フランス二月革命の日々——トクヴィル回想録』

問7 下線部 F に関連して、ポーランドの第3回分割からポーランド共和国独立までの経緯を、〔解答欄 B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい。ただし、次の3つの語を必ず使用すること。

アレクサンドル2世      ウィーン会議      ナポレオン1世

Ⅱ 次の資料は、1885年1月8日付で東南アジアのある国の国王宛に提出された「在西欧の王族・官吏11名の国政改革に関する意見具申書」からの抜粋である（ただし、一部を適宜改めた）。これを読んで、問8～問12に答えなさい。解答は、設問で指定された場合を除いて、すべて番号で解答用紙の〔解答欄 A〕の所定の欄に記入しなさい。

われわれは A 国王も廷臣たちも、愛国心をもって改革を考え、危機を脱しようとしていることは十分に承知している。しかし、考えておられる改革程度では、植民地化の危機を防ぐことはできないと思う。……わが国より遥かに強国である B トルコ、中国でさえ危険に直面しているのだ。……すでに、( a ) と ( b ) は協調して、……( a ) は ( b ) がカンボジアを取ることを認め、( a ) はマラヤを奪いつつある。わが国が ( a )、( b ) 両国と友好関係を維持し、従来の制度を守っているだけでは、日々細るだけである。……列強との友好条約も独立の助けとはならない。C 清国は……、現に ( b ) に攻撃されている。……西洋がアジアの国に同一権利を認めるとは思われない。( c ) は多大な利益と引き換えに、領事裁判権廃止を求めて条約改正に奔走した。……わが国が同様の権利を得るためには、( c ) のように国制を整え、人民を開化し、西洋人の信用を得なければならない。D 文明化こそわが国を防衛できる道である。

〔資料出所〕歴史学研究会編『世界史史料9』

問8 上の文中の ( a ) ～ ( c ) に入る適切な語を、1～8から選びなさい。

- |            |         |         |        |
|------------|---------|---------|--------|
| 1. アメリカ合衆国 | 2. イギリス | 3. オランダ | 4. ドイツ |
| 5. 日本      | 6. フランス | 7. ベトナム | 8. ロシア |

問9 上の文中の下線部 A について、この国の当時の (ア) 王朝名と (イ) 国王名を、〔解答欄 B〕の所定の欄に記入しなさい。

問10 下線部 B に関連して、「トルコ」に関する次の文章の中から、誤りを含む文章を1つ選びなさい。

1. ロシア＝トルコ戦争が勃発すると、アブデュルハミト2世は、これを口実に議会を閉鎖し、ミドハト＝パシャの起草した憲法を停止した。
2. ロシア＝トルコ戦争に敗れたオスマン帝国は、セルビアやルーマニアなどヨーロッパ側領土を大幅に失うことになった。
3. 憲法停止に不満を抱く青年知識人・将校は「統一と進歩団」を結成し、一時政権をにぎったが、スルタンの反撃にあい憲法の復活はできなかった。
4. 第一次世界大戦で同盟国側に立ったオスマン帝国は、エーゲ海沿岸地域をギリシアに占領され、また、セーヴル条約でアラブ地域も失った。

問11 下線部 C に関連して、清国と ( b ) 国との戦争の原因、戦争終結の条約で定められた事柄を、戦争名・条約名も記して、〔解答欄 B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい。

問12 下線部 D に関連して、この国の近現代史に関する次の文章の中から、誤りを含む文章を1つ選びなさい。

1. 19世紀後半に入ると、イギリスとのバウリング条約をはじめとして、欧米諸国との間に不平等な修好通商条約をむすんだ。
2. 19世紀後半から20世紀初頭にかけて、チャクリ改革が推進され、諸侯を廃し、非自由民を解放して、中央集権的な近代国家の確立につとめた。
3. 1930年代に入ると、国王の専制に対して批判が起り、若手の軍人や官僚によるクーデタによって共和政に移行した。
4. 第二次世界大戦後は、インドネシア・マレーシア・フィリピン・シンガポールとともに ASEAN を結成し、APEC にも発足当時から参加した。

Ⅲ 次の資料 a～f は、第二次世界大戦後になされたアメリカ合衆国大統領の発言の一部を日本語に訳したものである(ただし、一部を適宜改めた)。これらについて以下の問13～問20に答えなさい。解答は、設問で指定された場合を除いて、すべて番号で解答用紙の〔解答欄 A〕の所定の欄に記入しなさい。

a

……合衆国はギリシア政府からの、財政・経済支援の緊急要請を受けた。……

まさにギリシアという国家の存在は今日、共産主義者に指導された数千の武装した者たち……によって脅かされている。これらの者は、……特に北側の国境沿いで政府の権威に逆らっている。現在、国際連合安全保障理事会により任命された委員会が、……ギリシアと、(ア)・ブルガリア・Aユーゴスラヴィアとの間の国境沿いで起こっているとされる国境侵犯を調査中である。……

ギリシアの隣国である(イ)もわれわれの関心に値する。……

ギリシアの場合と同様、(イ)が必要とする援助を得るとすれば、合衆国がそれを供給しなければならない。われわれは、この援助をもたらすことのできる唯一の国である。

b

このわずか4カ月の間に、わが国は……ニューヨークと国防総省の再建を開始……した。

アメリカの国旗がカーブルの大使館上で再びたなびいている。……

われわれの第2の目標は、テロを支援する体制がアメリカや友好国を大量破壊兵器で脅かすのを妨げることである。……

北朝鮮は、自国民を飢えさせつつ、ミサイルと大量破壊兵器で武装した体制である。

Bイランは、選挙で選ばれていない少数が国民の自由への希望を抑圧しつつ、これらの兵器を貪欲に追い求めテロを輸出している。

(ウ)は、アメリカに対する敵意を誇示し、テロを支援し続けている。……

こういった国家やそのテロリストの仲間は、悪の枢軸を成している。

c

……14年前、c偉大なビジョンを持ったアメリカ合衆国大統領、エジプト大統領、イスラエル首相の3人がキャンプ＝デーヴィッド合意に基づく条約に署名した。……その時は、今と同様に、紛争がすぐに再燃するであろうという声を聞いた。しかし、エジプトとイスラエルの平和は持ちこたえた。……

本日、イスラエルとパレスチナ解放機構の指導者は、パレスチナ暫定自治政府の原則の宣言に署名する。……

……自らの民を平和に導く勇気を持っていたイスラエルとパレスチナ解放機構の指導者たちに、本日、敬意を表そう。世界は本日、(あ)首相、ペレス外相、(い)議長に感謝する。



d

……D ベルリンの壁が建造された時、みなさんの多くはまだ生まれていなかった。……  
私はゴルバチョフ大統領を説得しようと努力している。……これできっぱりと冷戦を終結しよう。……  
ちょうど昨日、西ドイツの外務大臣がベルリンの壁の一片を私にくれた。……  
……ゴルバチョフ大統領に対し、10日後に会おうと招いた。……  
島嶼国マルタの沖で、ミハイル＝ゴルバチョフと私は、年来の任務を始めるのである。

e

……E 本日署名する条約は、……忍耐の賜物の好例である。……合衆国およびソヴィエトの特定の核ミサイルの完全な撤廃である。……  
ソヴィエト側では、展開された1500以上の弾頭が除去され、……すべての地上発射の中距離ミサイルが破棄される。……  
この合意は、……もうひとつの重要な原則を具現する。それは（エ）、すなわち、軍事計画と軍事力におけるより一層の開示性である。

f

本政府は……F キューバ島におけるソヴィエトの軍事的増強への最も精緻な監視を維持してきている。この一週間で、かの囚われの島において一連の攻撃的ミサイル基地が準備中であるとの明白な証拠が確立した。これらの基地の目的は、まさに西半球に対する核攻撃の能力を供給することにある。

問13 以下の（1）～（4）に答えなさい。

（1）上の資料a中の（ア）、（イ）に入る語を、1～9からそれぞれ選びなさい。

- |          |          |           |          |              |
|----------|----------|-----------|----------|--------------|
| 1. アルバニア | 2. イタリア  | 3. オーストリア | 4. スイス   | 5. チェコスロヴァキア |
| 6. トルコ   | 7. ハンガリー | 8. ポーランド  | 9. ルーマニア |              |

（2）上の資料b中の（ウ）に入る語を、1～4から選びなさい。

- |            |        |          |          |
|------------|--------|----------|----------|
| 1. アフガニスタン | 2. イラク | 3. パキスタン | 4. パレスチナ |
|------------|--------|----------|----------|

（3）上の資料c中の（あ）、（い）に入る人名をそれぞれ、【解答欄B】の所定の欄に記入しなさい。

（4）上の資料e中の（エ）には、当時のソヴィエト社会主義共和国連邦（ソ連）の政権が諸政策を進める際の標語の1つが入る。「情報公開」という意味のそのロシア語をカタカナで、【解答欄B】の所定の欄に記入しなさい。

問14 上の資料 a 中の下線部 A に関連して、次の 1～4 の文章の中から、誤りを含むものを 1 つ選びなさい。

1. 第二次世界大戦期のユーゴスラヴィアでは、共産党書記長のティトーらが中心となって、パルチザン闘争を展開した。
2. ソ連は、自主路線に固執したユーゴスラヴィアを、ドイツ民主共和国の成立を受けて、コメコンから除名した。
3. ユーゴスラヴィアなどの呼びかけで、ベオグラードで第 1 回非同盟諸国首脳会議が開催されたが、中華人民共和国は代表団を派遣しなかった。
4. クロアチアとスロヴェニアは、連邦国家だったユーゴスラヴィアから分離独立し、この両国はその後 EU 加盟を果たした。

問15 上の資料 b 中の下線部 B に関連して、第二次世界大戦後のイランにおける体制の推移を、イラン＝イスラーム共和国の成立までについて、〔解答欄 B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい。ただし、次の 2 つの語を必ず使用すること。

アングロ＝イラニアン石油会社      白色革命

問16 上の資料 c に関連して、以下の (1)、(2) に答えなさい。

(1) 下線部 C の「3 人」のうちのひとりであるアメリカ大統領を、1～6 から選びなさい。

1. カーター                      2. クリントン                      3. ニクソン                      4. ブッシュ (子)
5. ブッシュ (父)                      6. レーガン

(2) 下線部 C の条約の主たる内容について、〔解答欄 B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい。

問17 上の資料 d の下線部 D に関連して、ベルリンの壁が建造された 1960 年代に起こった「プラハの春」とそれに対するソ連の対応について、制限主権論という概念を用いて、〔解答欄 B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい。

問18 上の資料 e に関連して、次の 1～4 の事項を年代の古い順に並べ替えて左から記入しなさい。

1. 国連総会で CTBT が採択される
2. 米ソが下線部 E の条約に調印する
3. 米ソが第 1 次 SALT に調印する
4. 米ソが第 1 次 START を妥結する

問19 上の資料 f の下線部 F に関連して、次の資料は、アメリカが19世紀に締結した和平条約の一部を日本語に訳したものである（ただし、一部を適宜改めた）。この条約に関連して、以下の（1）～（3）に答えなさい。

第1条. ( α ) は、キューバに対する主権……を放棄する。また同島は、( α ) の撤退を受けて合衆国が占領するものであるので、合衆国は、かかる占領が継続する限り、……人命と資産の保護に関わる義務を引き受け履行するものである。

第2条. ( α ) は合衆国に、西インド諸島で現在 ( α ) の主権下にある ( β ) およびその他の島嶼を、またマリアナ諸島……の ( γ ) 島を割譲する。

第3条. ( α ) は合衆国に、( δ ) 諸島として知られる列島を割譲し……

(1) この条約中の ( α ) に入る国名を、【解答欄 B】の所定の欄に記入しなさい。

(2) この条約中の ( β ), ( γ ), ( δ ) に入る地名を、1～9からそれぞれ選びなさい。

- |         |          |           |             |        |
|---------|----------|-----------|-------------|--------|
| 1. グアム  | 2. ジャマイカ | 3. タヒチ    | 4. ニューカレドニア | 5. ハワイ |
| 6. フィジー | 7. フィリピン | 8. プエルトリコ | 9. マーシャル    |        |

(3) この条約が締結された時のアメリカ合衆国大統領名を、【解答欄 B】の所定の欄に記入しなさい。

問20 上の資料 a～f の発言がなされた時期を、下の年表中の空欄 0～9の中からそれぞれ選びなさい。（重複使用不可）

0

チャーチル前首相が「鉄のカーテン」演説

1

ワルシャワ条約機構結成

2

フルシチョフがソ連共産党第20回大会で「スターリン批判」演説

3

中国で文化大革命開始

4

ソ連が親ソ政権支援のためアフガニスタンに侵攻開始

5

東ドイツのホネカー書記長が退陣

6

イラクがクウェートに侵攻開始

7

アメリカがターリバーン政権を崩壊させるためアフガニスタンを攻撃開始

8

イラクのサダム＝フセイン政権が崩壊

9

